



わがまち
川西



川西市教育委員会



©川西市 2008

| | | |
|-------|-------|-------|
| 1 年 組 | 2 年 組 | 3 年 組 |
| | | |

川西市内の博物館・資料館・史跡



1 川西市歴史民俗資料館 p.40

美山台 3-5-1
TEL 072-740-1244
旧福田家住宅は、江戸時代中期の建築です。

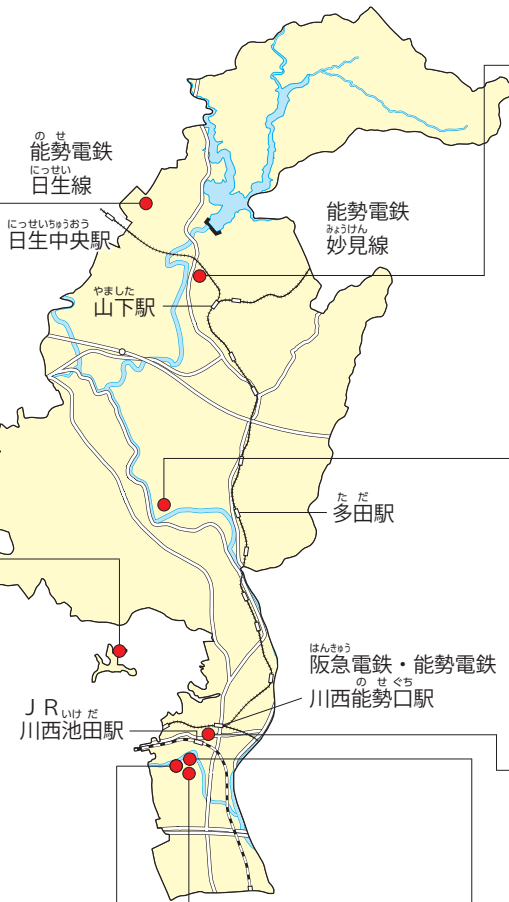
4 満願寺 p.37

満願寺町 7-1
TEL 072-759-2452
奈良時代に創建されたと伝えられており、平安時代中期、源満仲が多田に館を構えて以降、源氏一門の祈願所になりました。



7 川西市文化財資料館 p.28-33

南花屋敷 2-13-10
TEL 072-757-8624
川西市内遺跡の発掘調査で出土した資料を整理、収蔵、展示する施設です。



8 宮川石器館 p.29

加茂 2-10-24
TEL 072-759-9077
地元の宮川雄逸氏が加茂遺跡で採集した弥生土器・石器などを展示しています。個人宅のため事前連絡(予約)が必要です。



2 川西市郷土館 p.39

下財町 4-1
TEL 072-794-3354
旧平安家住宅と旧平賀家住宅は、大正時代の建築として国の登録文化財となっています。

3 多田神社 p.36

多田院多田所町 1-1
TEL 072-793-0001
970(天禄元)年に寺院として建立されました。源満仲をまつていることで広く知られます。



5 川西市立中央図書館 p.51

栄町 25-1 アステ川西 4・5F
TEL 072-755-2424
1991(平成3)年に開館し、ジャンルを網羅した蔵書で、あらゆる世代の人が利用しています。

6 加茂遺跡 p.28-31

加茂 1、南花屋敷 2・3
弥生時代を象徴する巨大な環濠集落です。



川西市章 (川西市のしるし)

「川西」を図案化したもので、中央の「川」は、川西の「川」と市内を流れる猪名川をかねて表し、円形は「西」を丸くしたもので、平和と円満を表しています。

川西市市民憲章

平成 29 年 1 月 1 日 公示

私たちは、ふるさと川西への誇りを胸に、幸せが実感できるまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。

- か 語りあう 未来の希望 あしたの話
- わ 分かちあう 豊かな自然 住みよいまち
- に 担おう 賑わいと発展 清和源氏のふるさと
- し 信じよう 平和と共生 育むこころ

川西市は、約 60 年ぶりに市民憲章の見直しを行い、2017(平成 29)年 1 月 1 日付で新しい市民憲章を公示しました。

市民憲章は、幸せを実感できるまちの実現をめざして、市民一人ひとりがそれぞれの立場で考え、行動するための合言葉です。川西市で初めて制定されたのは 1958(昭和 33)年ですが、その後、社会環境が大きく変化した現在、その内容が時代にそぐわなくなったため、見直すことになりました。子育てや社会福祉、市民活動、コミュニティ、公募市民など、各分野で活躍するメンバーが集まり、「川西市市民憲章見直し検討委員会」を開催。市民憲章の役割や必要なキーワード、市の特徴、連想させる言葉、未来に向けて大切にしたいことなどについて、十分に議論を重ねました。そして、市民としての誇りや郷土愛を持ち続けてもらえるような、親しみのある市民憲章が完成しました。約 60 年ぶりに一新された市民憲章。その言葉一つひとつに、市を思うからこそ出てくる、たくさんの願いが込められています。言葉の意味をそれぞれの立場で理解して行動していく、その積み重ねが「幸せを実感できるまちづくり」に結びついていきます。

もくじ

- 川西市内の博物館・資料館・史跡 …… 巻頭
- 川西市市民憲章 …… 1

第①章 川西市の地理 3

- 1 地形図とは …… 4
- 2 地図記号と方位、等高線と断面図 …… 6
- 3 川西市の位置・地形 …… 8
- 4 川西市の気候 …… 10
- 5 川西市の産業 …… 12
- 6 川西市の農業 …… 14
- 7 川西市の工業 …… 16
- 8 川西市の商業 …… 18
- 9 川西市の交通 …… 20
- 10 宅地開発とニュータウン …… 22
 - 川西市域の地名の由来 …… 26

第②章 川西市の歴史 27

- 1 縄文・弥生時代の遺跡 …… 28
 - 弥生時代中期の加茂遺跡 …… 30
- 2 古墳時代の遺跡 …… 32
- 3 奈良時代の遺跡 …… 34
- 4 清和源氏ゆかりの地 川西 …… 36
- 5 多田銀銅山の発展 …… 38

- 6 川西市の誕生 …… 40
 - 川西市の歩み …… 41
 - 美女丸伝説 一西畦野・小童寺一 …… 42
 - 「三ツ矢サイダー」は川西市の水から生まれた！ …… 42

第③章 川西市のまちづくり 43

- 1 川西市の行政のしくみ …… 44
- 2 川西市の議会のしくみ …… 45
- 3 川西市の財政 …… 46
- 4 川西市の子育て支援 …… 48
- 5 超高齢社会と川西 …… 49
- 6 障がいのある人に対する福祉 …… 50
- 7 生涯学習の場としての川西 …… 51
- 8 阪神・淡路大震災と川西 …… 52
- 9 地震に備える …… 53
- 10 さまざまな災害 …… 54
- 11 水資源をめぐる問題 …… 55
- 12 航空機騒音の問題 …… 56
- 13 日本一の里山 黒川地区 …… 57
- 14 これからのまちづくり …… 60
- 15 市民がつくる「キセラ川西」 …… 62
 - 非核平和都市宣言 …… 巻末
 - 人権擁護都市宣言 …… 巻末

第①章 川西市の地理



↑ 川西能勢口駅



↑ 一庫ダム



↑ 川西市の市花 りんどう



↑ 川西市の市木 さくら



↑ ホタル復活プログラムワークショップ(せせらぎ遊歩道)
水生生物観察会を行いました。



↑ タイル貼りワークショップ(公園管理棟パークオフィスキセラ丸) 配置を考えながら、床の一部に6色のタイルを貼りました。



↑ 芝張りワークショップ
(キセラ川西せせらぎ公園) たくさんの市民の手によって、芝が張られました。

15 市民がつくる「キセラ川西」



↑ キセラ★カフェ 公園の活用について、意見が交わされています。



↑ プレーパーク活動 子どもたちの「やってみてみたい!」を全力で応援する場として開催しています。

キセラ川西のまちづくりは、市民の参加を募り、市民の川西市に対する誇りや愛着(シビック・プライド)を培っていくことを大切にされてきました。

キセラ川西せせらぎ公園やせせらぎ遊歩道、公園管理棟パークオフィスキセラ丸の設計や施工、維持管理にいたるまで、さまざまな形で体験型の講座であるワークショップを取り入れ、市民と一しょにキセラ川西をつくりあげています。このワークショップは、2019(令和元)年12月までに、80回近く開催され、約1700名の市民が参加しています。

また、その他にも、市民同士の交流や情報共有の場であるキセラ★カフェや、プレーパーク活動など、市民主体によるまちづくりが展開されています。

これからも、市民の力によって、キセラ川西が発展していくことが期待されます。

非核平和都市宣言

世界中の人々が等しく平和な暮らしを営むことは、人類共通の願いです。それにもかかわらず、地球上の全生命を滅ぼしてもなお余るほどの核兵器が蓄積され、世界の平和に深刻な脅威を与えています。わが国は世界で最初の核被爆国として、核兵器と戦争の恐ろしさを全世界に訴え、その惨禍を絶対に繰り返させてはなりません。私たちは祖先から受け継いできた猪名川の清流、豊かな緑、そして人類共通の財産である青く美しい地球を永遠に守り続けていくためにも、核兵器をつくらず・持たず・持ち込ませずの「非核三原則」を遵守するとともに、恐るべき核兵器の廃絶を願い、人と人が憎しみあい傷つけあうことのない世界の創造を求めて、ここに市民の総意のもと、川西市を「非核平和都市」とすることを宣言します。

平成元(1989)年7月14日
川西市



↑ 平和モニュメント
のどろ(みつめる)

人権擁護都市宣言

人は生まれながらにして自由かつ平等であり、人間として生きる権利を有しています。私たちは、日本国憲法のもとにすべての人々が尊ばれ、基本的人権が保障される住みよい社会が一日も早く実現することをめざしてきました。それにもかかわらず、いまなお残る、さまざまな人権侵害の事実を見つめるとき、いまこそ市民一人ひとりが力を合わせ、すべての人々の人権が擁護され、だれもが誇れる明るく心豊かな川西市を築いていかなければなりません。私たちは自らの人権意識を高め、人権尊重の輪を広げていくため、ここに市民の総意のもと、川西市を「人権擁護都市」とすることを宣言します。

平成3(1991)年2月28日
川西市

わがまち川西
平成30年4月 初版発行
令和6年4月 第4版発行
編集 川西市立中学校社会科
「わがまち川西」編集委員会
発行 川西市教育委員会
編集協力 東京書籍株式会社